

# 重点課題は12施策

市民の皆さんが現状に対してどのように感じ、どのように評価をしているのかを聞き、今後の市政運営や次期総合計画の策定に当たっての基礎資料とするため、昨年12月に市民意識調査（アンケート）を実施しました。この調査では、個別施策57項目について、「満足度」と「重要度」を5段階で評価していただきました。また、これから市が行っていく事業などについての個別事項を伺いました。

今、市民の皆さんが市をどのように考えているのか、調査結果の一部を紹介します。詳細は、市役所情報公開コーナーや市ウェブサイト（<http://www.city.ena.lg.jp/>）などをご覧ください。  
 □問い合わせ 総合政策課 ☎ 26-2111（内線330）

## 調査の概要

調査対象：20歳以上の市民2,500人  
 抽出方法：無作為抽出法  
 調査方法：郵送配布、郵送回収  
 調査時期：平成25年12月  
 回収結果：1,375人（回収率55.0%）  
 ※平成24年度回収結果1,413人（回収率56.5%）

## 施策の満足度と重要度の分析方法

施策の満足度と重要度の分析方法は、全57施策の満足度と重要度を5段階評価で点数化して、評価しました。

①評価点の基準 5段階の回答の評価点は、回答者の割合に応じて評価指数を計算します。

算出した評価指数は、満足度と重要度それぞれに「+2.0」に近づくほど満足度を満たし、重要度は高くなります。反対に「-2.0」に近づくほど満足度は不満が大きく、重要度は低くなります。

②評価の基準 満足度と重要度の分布により、各施策の評価を行います。

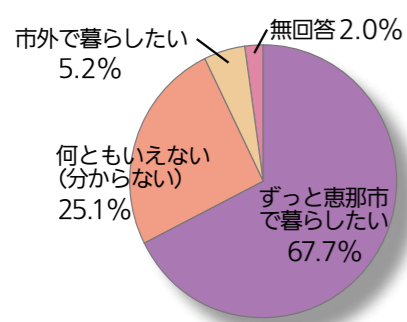
### ①評価点の基準

評価点	満足度	重要度
+2点	満足	高い
+1点	やや満足	やや高い
0点	どちらともいえない	どちらともいえない
-1点	やや不満	やや低い
-2点	不満	低い
0点	回答なし	回答なし

### ②評価の基準

評価	満足度指数	重要度指数	施策評価の目安
①重点課題	平均未満	平均以上	最も課題のある施策であり、重点的に推進する
②継続推進	平均以上	平均以上	継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進する
③課題	平均未満	平均未満	課題のある施策であり、必要度を検証し、施策を推進する
④要検討	平均以上	平均未満	一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する

## 今後の居住の意向



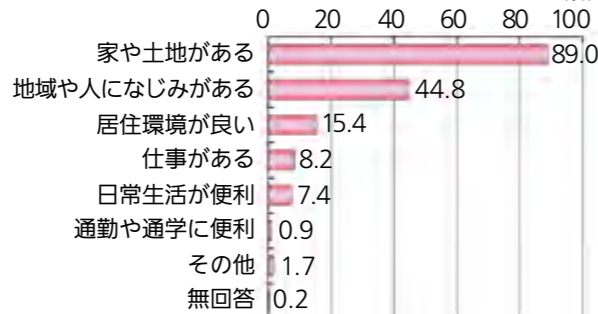
結果は、「ずっと恵那市で暮らしたい（一度市外に出ても本市に戻ってきた場合を含む）」が67・7割と約7割

## 約7割が恵那市で暮らしたい

本調査では、今後の居住意向についても調査しています。

「ずっと恵那市で暮らしたい」と回答した方に、理由を聞いたところ、「家や土地があるから」が89・0割と最も高く、次いで「地域や人になじみがあるから」が44・8割、「居住環境が良いから」が15・4割の順となりました。一方、「市外で暮らしたい」と回答した方に理由を聞いたところ、「日常生活が不便だから」が43・1割と最も高く、次いで「居住環境が悪いから」が25・0割、「その他」が22・2割の順となっています。

## ずっと恵那市で暮らしたい理由



医療、防災、働く場の確保などが今後の重点課題

市民意識調査の結果を右ページの図のように分析しました。重要度が高く、満足度の低い「重点課題」（左上の部分）に該当したのは、次の12施策です。これらの施策は、満足度の向上につながるよう、今後も重点的に取り組む必要があります。

「都市・交通基盤分野」の整備、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」、「段差や道幅など歩道の安全性」、「JR中央線の利便さ」、「産業振興分野」の推進

